

2月は卒業や進級まで「あと〇日」という掲示が見られるようになり、「別れ」を意識し始める時期です。残された一日一日の子どもとの触れ合いを大切にしながら、自分たちの学級がどのように成長したのか確かめ合う場をつくることで、子どもたちは学級への信頼感や学級のまとまりを実感していくはずで、学級全体で取り組む朝、帰りの会や学級活動を充実させ、残り少ない日々を大切にしたいものです。



<小学校>

朝の会、帰りの会で話し合う活動を

朝の会・帰りの会は、学級の文化を育てるよい機会であり、短時間でも学級内で工夫次第で解決すべき問題について話し合うことができます。次の点に留意して、話し合い活動を充実させましょう。

【タイミングを逃さない】

子どもたちが問題意識をもったタイミングを逃さず話し合いの機会をもちましょう。10分程度の時間での話し合いになるので、議題を朝の会で示し、帰りの会で話し合う等の工夫も必要です。



【話し合いの視点を整理する】

例えば、清掃活動の充実について話し合う場合、次の2つの視点が考えられます。

- ・方法を工夫する視点（能率的な分担や手順等）
- ・意欲を高める視点（清掃に向かう姿勢等）

限られた時間の中でも、子どもたちが話し合いやすいように、教師が話し合いの視点を整理し、複数回に分けて話し合わせる等、支援や助言を行うことも大切です。

児童の企画・運営による学習発表会

学習の歩みを振り返る学習発表会を行い、学習の成果をクラスみんなで実感しましょう。友だちのよさや自分の成長を実感することで、学級の絆がいつそう強まるでしょう。

<プログラムの例>

- 1 はじめの言葉
- 2 児童代表挨拶（発表会への思い、意欲等）
- 3 クラスの中核活動の発表、教科学習の成果の発表（群読、社会科クイズ）等
- 4 感想発表（参観授業の場合は保護者からも）
- 5 先生の話（子どもたちの成長に触れながら）
- 6 終わりの言葉

企画・運営は、担任の助言のもとで子どもたちに任せ、手作りの発表会にすると、達成感が高まるでしょう。学級の成長が感じられる貴重な時間になります。



<中学校>

生徒が爽やかに朝を迎えるための教師の2分間アクション

登校してきた生徒が爽やかな気持ちで一日を始められていますか？始業前に先生方がちょっとした配慮をすることで、落ち着いた学習姿勢や温かな人間関係をつくる雰囲気醸成します。

始業前の2分間でできるチェックポイント

- 黒板が毎朝きれいに消されている。
- チョーク受けにチョークの粉が積もっていない。
- 掲示物が整然と4隅を留めて貼られている。
- 時期が過ぎた掲示物が貼られていない。
- 机と椅子の配列がまっすぐになっている。
- 床にごみが落ちていない。

たった2分間、されど2分間です。整った学習環境づくりに毎日取り組み続けることは、生徒を伸ばす学級経営の第一歩となります。



思いを込めた合唱で学級のまとめを！

進級・卒業を目前とした2月。新たな希望や願いをもてるような、ステキな合唱をしたいですね。



何かいい曲をみんなで合唱したいな！



思い出に残る曲がいいんだけど…。

例えば、こんな曲はどうか？



合唱曲《COSMOS》
（作詞・作曲：ミマス）



「君も星だよ みんなみんな」というところは、これから私たち一人一人が、輝いていこうとする感じがして、いいね！



学級の歩みや生徒の思いに合う選曲が、思い出に残る合唱づくりにつながります。生徒の考えや音楽の先生の助言等を参考に選曲し、進級や卒業への思いを膨らませる合唱で学級づくりを締めくくりましょう。